

# 製本のススメ

Vol. 88

新緑の頃ですね さわやかな季節のはずですが、この頃のお天気には閉口させられます。雨や風も必要ですが ほどほどにお願いしたいものです。

今回は**時代は変わる**の話し

欧米の印刷技術が日本に来てから、日進月歩で印刷も製本も技術が向上してきました。ガリ版の時代から活版になり凸版になりオフセットになり、今や電子書籍なるものも登場し、横書きにも慣れ親しみ、文字組の常識も揺らぎ始めています。

さて、印刷と製本の間には、共通のルールがあります。たとえば**縦書きの文章は【右開き】横書きの文章は【左開き】**となれば、紙折では袋になる場所が変わります。**右開きは下が袋『地 袋』になりますし、逆に左開きでは『天 袋』です。**折本を揃えるには袋側で揃えます。しかし、ペラ丁合では「袋」はありませんので、実際のところ、上下(天地)どちらで揃えても、大きく支障はでないでしょうが、やはり製本の時には、ルールにのっとり揃えることが基本です。

どんな印刷にも『針とクワエ』があります。それは自宅のプリンターでも同じです。製本加工は、この**針クワエを頼りに最初の作業を始めます。**ときどき うちのプリンターには針クワエがありませんと言われますが、常に同じ位置でプリントされるならばそれはしっかりと針クワエが設定されている証拠です(使う人が知らないだけかも?)

ハードはどんどん進化して、現在では印刷の知識が無くても、キーボードに打ち込むだけで、それなりの印刷が出来上がります。しかし、製本工程においては、あまり進化したといえませんが、それだけに、ルールを逸脱した物は必要以上に手がかかりまた、良い仕上がりになりません。

時代はどんどん変わりますが、しかし**基本は変わらない**のです。基礎の上に応用は作られます。優れた調理器具を使っても、材料の味が判らなければ、美味しい物につくれないのと同じですね。



## Teabreak

そろそろ蚊がでてきました。すでに刺された人も居るのではないのでしょうか?さて、蚊は何を目印にやってくるのでしょうか?これは、私たちの体から出ている水分(汗)口や肌から出る二酸化炭素・乳酸だそうです。体温の高い人運動などで汗をかいて蒸気が上がっている人は、恰好の獲物ですね。とすると、頭から湯気が出るほどカッカと怒っているオジサンが居たら、近寄らないほうが安全(?)ということでしょうか。

by (株) 井関製本